

## VIII おわりに

民放連とNHKが定めた「放送倫理基本綱領」は、放送に携わる関係者に対し、「品位ある表現を心がける」よう求め、「事実を客観的かつ正確、公平に伝え、真実に迫るために最善の努力を傾けなければならない」「視聴者・国民の信頼を得るために、何者にも侵されない自主的・自律的な姿勢を堅持し、取材・制作の過程を適正に保つこと」を訴えている。

これらはたんなるお題目や建前ではなく、これまでの放送人が少なくない失敗や間違いを経験したあとで、ようやくたどり着いた倫理綱領であり、民主主義社会における放送の命綱ともいえるべき理念である。

放送倫理検証委員会は、放送人がこうした倫理と理念を日々の番組作りのなかで具体的に活かしていくための方策を「審議」によって提言し、場合によっては特定の番組を検証し、「審理」によって示すことを目的としている。

委員会が放送倫理の向上をめざすというとき、それは、強制力によって、放送人が見かけ上だけ行儀よくなることや、問題を起こさない代わりに毒にも薬にもならない番組ばかりがふえることを意味しない。委員会をめざすのは、放送人一人ひとりが内発的・自律的に放送倫理を自覚し、その向上に向けて努力するよう励まし、支援することである。

委員会のこうした姿勢の底流にあるのは、放送人は放送で失ったものは、放送によって取り返すべきであり、放送で起きたことは、放送で解決すべきである、という職業的原則である。言い換えればこれは、放送人はその倫理において、また仕事において、内発的・自律的・自主的でなければならない、ということである。

本件審理の最終段階の7月10日になって、不二家は委員会に対し、「TBS『朝ズバッ!』で指摘された『賞味期限切れチョコレートの再利用』に関する件」なる、代表取締役社長名の文書を提出した。そこで主張されていることの趣旨は、「弊社製チョコレートの流通システムからいって、賞味期限切れ製品が工場にもどってくることは絶対なく、従って再利用等もありえない」という従来からの主張だったが、そこにあらたに2つのことが付け加えられていた。

その第1は、これが現在にかぎったことではなく、「10年以上遡っても基本的には変わりはありません」と記されていたことであり、第2に、「今般の委員会における調査には全面的に協力いたす所存でございます」と述べられていることである。このような新しい事実の提示と協力的な姿勢に、委員会は謝意を表したい。

「はじめに」でも述べたとおり、委員会は放送界の監督官庁でも、裁判所でもない。公権力が放送界を直接に監理することの問題点はここではさておくとしても、委員会にはそれらとの本質的なちがいがあ。委員会の役割は、放送対象となった事象それ

自体の真実性を究明することにあるのではなく、番組関係者が放送に至る経緯のなかで、どれほどその事象の真実性を明らかにする努力を払ったか、また番組においてそれにふさわしい演出を行なったかどうか、を放送倫理上の観点から検証することにある。言い換えれば、委員会は、事象の真理を司るのではなく、真理に至る過程に注目し、その正当性を検証するのである。

そのことは別段、委員会が非力ということではない。速報性・広域性・影響力の大ききで他のメディアに優越する放送は、民主主義社会の成熟の度合いに深く関わっているが、民主主義が「結果」ではなく、合意形成の平等性や公明性などの「過程」を重視するように、委員会もまた、当該の番組が放送されるに至った過程を重視し、その正当性と放送倫理上の問題点を検証する。そのことを通じて、民主主義の一機能としての役割を果たそうとするものである。

TBSおよび『朝ズバッ！』と不二家とのあいだにあった反目と相互不信は、一方の訂正・お詫びの放送と、他方の経営判断による受け入れによって、一応は収束している。だが、視聴者と一般消費者は、賞味期限切れ製品の再利用があったか否かを判断するための材料を、どちらからも提示されないまま、置き去りにされている。

不二家は先の文書によって、「10年以上遡っても」賞味期限切れ製品が工場にもどってくることはないと言い、委員会に対する情報開示の準備がある旨を提示したが、何よりもそれは一般消費者と視聴者、さらにはTBSおよび『朝ズバッ！』関係者に向けてこそ示されるべき姿勢であろう。

委員会は、TBSと『朝ズバッ！』関係者が、放送で失ったものは、放送によって取り返すべきだ、という放送人の職業的原則を思い起こし、いまだ明らかでない真実の解明に自主的・自律的に取り組み、視聴者と一般消費者に対する責任を果たすよう、強く訴えておきたい。ことの真偽がどちらに転ぶのであれ、その取材調査のプロセスと結果をていねいに真剣に伝えることこそ、放送が社会的信頼を築き、この国の民主主義の成熟に寄与することにつながると信じるからである。